



みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。安曇野市政や議会が市民にとって身近になるために、虹 (= Rainbow レインボウ) の架け橋となるような議員活動をしていきます。望三郎の活動はブログやフェイスブック、インスタでもどうぞ。→「増田望三郎」で検索。

●プロフィール
大分県出身 53 歳。東京経由で安曇野に移住し 19 年目に。三郷小倉に妻と子ども、妻の両親の 3 世代で暮らす。自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿(ちきゅうやど)』を経営。安曇野市議 3 期目。好きな言葉は『出会い、共感、展開』

巻頭言 新年度予算案の3月定例会報告

▼議会は言論の府。 市議会最終日、討論が多数！

新年度予算案を賛成多数で可決して3月定例会が終わり、安曇野市行政の新年度がスタートしました。定例会最終日は各議案の議決をするのですが、賛成・反対の発言をしたい議案には「討論」通告書を出します。安曇野市議会は、最終日にしっかりと討論し合うことが多く、その分時間も長くなります。他自治体の議員仲間からは、「安曇野市議会、マジメだね～」と言われたこともあります。でも議会・議員としては当然のこと。発言の質はさておき、一人一人が自分の考えを一生懸命述べています。私は最終日には以下の3つの議案で討論しました。

1. 多文化共生推進の条例改正案に賛成
2. 新年度予算案に賛成
5～11歳のワクチン接種を慎重にする旨を発言
3. 化学物質過敏症と香りの害への対策を求める陳情に賛成

※発言は市議会ホームページの「議会中継」→「令和4年3月定例会・3月18日本会議」録画で観られます。

▼予算案は賛成多数で可決

令和4年度予算案総額約426億円が賛成多数で可決されました。9年連続の400億円越えの大型予算です。私が注目している施策は、**♪ワクチン接種で約2億9千万円(財源は国)** 5歳～11歳の接種が安曇野市でも始まります。**私はこの年代の健康な子どもたちへの接種は慎重であるべきだと考えています。**

♪保育業務のICT化で3945万9千円
子ども園全園にWi-Fi環境を整備し、保育業務を支援するシステムを導入します。「Wi-Fi常時接続による子どもへの電磁波影響は無い」という研究調査による」との行政説明がありました。実際の運用を注視します。

♪マウンテンバイクコース(MTB)事業
4月より堀金の啼鳥山荘周辺にMTBコースができます。太田市長は「安曇野をアウトドアスポーツの聖地に！」と言っています。新たな安曇野の魅力づくりに期待します。

♪水資源対策費で1628万9千円
安曇野が誇る地下水の保全は重要課題です。年末にワサビ農家の圃場を見学し、地下水減少の訴えを聴きました。市の計画には地下水涵養のための負担金制度があったのですが、その使い道として予定していた「冬水田んぼ」が、水利権の関係で河川から水を引けないと分かり、制度の見直しとなりました。

♪地球温暖化対策事業で1429万2千円

2050年のゼロカーボン達成は国を挙げての目標で、本市でも新年度に温暖化対策実行計画が作られますが、実効性ある施策ができるのか注目です。エネルギーの地産地消の取り組みは、私も所属する総務環境委員会の政策提言テーマです。

♪公共交通事業で1億2001万9千円

市民のみなさんも注目する公共交通。デマンド交通あづみんは、AI(人工知能)による送迎時間のお知らせができるようになります。また2台の増車もあり、利便性が向上されます。

▼予算案を市民とオンラインで検討！

今回の予算案で新しいチャレンジをしました。それは市民と有志の議員とで予算案を議論する場をオンラインで持ったことです。議員は独自の観点で注目施策の説明をし、市民からのコメントをもらう。また市民が目指す事業について質問を受けました。これまでは議決結果を報告してきましたが、**事前の議論で審議を深める一助にもなりました。**

▼ロシアのウクライナ侵略への 非難決議を全会一致で可決

ロシアによるウクライナ侵略に世界の多くの人たちが心を痛み、ロシアを非難しています。市議会でも全会一致で非難と即時撤退を求める決議を行いました。また3月13日には約100名の市民の方たちと一緒にスタンディングによる抗議を行いました。



抗議のスタンディングに望三郎も参加

▼議会のオンライン化、待ったなし！

議会内でのコロナ感染症拡大により開催見合わせになっていた議会報告会を3月26日にオンライン開催しました。リアルタイムでの市民との双方向の場は初の試みでした。Withコロナの時代には、議会の会議もリモートでのオンライン開催ができなければなりません。そのためのICTスキルの向上や各種規約の見直し、またICTを利用しない市民の方たちに向けては、これまで通りのアナログの発信も重ねて行うなど、取り組む課題は多いです。

オンライン活動報告会のお知らせ

有志の議員による合同の議員活動報告会を開催します。市民のみなさんとの意見交換も行います。ぜひご参加ください。コロナ感染症拡大を鑑み、オンラインで開催いたします。参加予定議員)

小林純子、橋本裕二、増井裕壽、増田望三郎
日時：4月24日(日)
午後2時～4時
場所：オンラインで



《質問1》安曇野市の小中学校の
将来構想・行動計画について

【解説】文科省は『令和の日本型学校教育』の構築を目指して、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を」と言う。一方安曇野市では、小中学校の将来構想が令和3年度に策定された。これからの本市の小中学校が、子どもたち一人ひとりにとって最適な学びの場となるにはどうすればいいか。「安曇野の子どもたちに明日はある!」と、我々大人が子どもたちに自信を持って言える学校教育を構築したい。

望市議 文科省の言う「個別最適な学び」が、小中学校将来構想の小中一貫教育導入でどう実現されるのか。

教育長 小中9年間のまとまりで学び方を考える。この発想で全ての教職員が1人の子どもを多角的に捉え、個性・特性に応じた支援を充実させていく。子どもたち自身も意欲を継続させ、自信を高めていける。一人一人の良さを踏まえ、連続・継続的に指導することで、個別最適な学びにつながっていく。

望市議 子どもの成長を大人、教師だけが考えるのではなくて、子どもたち自らがどんな大人になりたいか、どんな成長をするのか描くことが肝要。毎週自分の成長を振り返り、やれたことを確認し、時には仲間と話し合う、書き留めてみる、「じっくり個別の時間（仮称）」を設けることを提案する。一人一人の主体性や個性が出てきて、個別最適な学びへとつながるのでは。

教育長 常に自分を見返しながら、記録しながら歩み、それを蓄積することは非常に意義がある。

望市議 行動計画にある「中学生キャリア

フェス（仮称）」の狙いは。
教育長 市内で働く多くの大人たちとの交流から直接感じ取る、こんな大人になりたいとか、夢やあこがれを持ったり、一緒に市の将来を語り合ったりする。自分の力で生き方を選択する力や態度を身につけさせることを期待し、着手したい。

※キャリアフェスとは/中学生のキャリア教育の取り組みとして、市内で働く大人と中学生が交流・対話を通して、仕事にける思いや経験を生の言葉を通じて学び合うイベント。2018年に伊那市で始まり、安曇野市では将来構想の行動計画の中で検討される。



キャリアフェスの様子（中学生が様々な仕事を学ぶ）

《質問2》北小倉の民間廃棄物処理施設の火災について

【解説】北小倉にある民間事業者の廃棄物処理施設は、これまでも騒音・粉じんなどで地域住民の暮らしを脅かし、また汚水の地下浸透の懸念がぬぐえず、議会でも追及をしてきた。今回は昨年12月21日に業者施設で起こった火災を取り上げ、住民不安を訴えた。

望市議 この施設は木材などのチップ化処理を行っている。この業者施設の隣接会社は廃油を扱っているが、火災が木くずに燃え広がり、さらに隣接会社まで延焼していたら大惨事になっていた。これまでも施設扉が倒れて

の死亡事故の発生や事業者の労災隠し、そして今回の火事。地域住民にとっては、安全・安心な事業者とは到底言えない。市はどのような指導をするのか。

市行政 法に基づく立入検査を行う。

サポーターからの応援メッセージ③1

おじまたつや
小島龍哉さん（三郷/教育家・農業）



昨秋の選挙で私の応援していた人が負けました。今でも悔しい想いでいっぱいです。代わりに信頼しがたい人が大勢勝ちしました。彼らは議会で何をやっているのだろうか？気に入らない議員を攻撃する材料を探しに議会傍聴に行き始めました。ところが、私が敵視していた議員さんたちは、皆さん安曇野への熱い思い、信念を持ち、議員としての仕事をしている。

反対の意見を言う議員さんたち、それは決してその議員さん一人の意見ではなく、その後ろには必ずその意見を支持する多くの市民がいて、相反する市民の声がある。そのことをしっかりと理解して多くの議員さんたちはお互いに敬意を持ち、話し合いをし、財政状況、過去現在未来、様々なことを考慮してYES、NOを必ず決める。尊敬します。

ほんのわずかではあるが、許しがたい言動をとる議員さんもいて、さて、どうしたものか。望さんはそのような議員さんともしっかりとコミュニケーションを取る努力をしてくれています。

日常も議会も同じ。仲良く話をできる友達が多ければ日々楽しい。仲が良くなくても、敬意をもってお付き合いしたら、必ず分かり合えて、幸せを感じるはず。今後も議会傍聴を通して仲良し議員さんを増やしていきます。それがより良い安曇野への一つの道かも。

望三朗市議が行く!
第32話
『政治は結果を!』
出演 ☆望市議 にじとピース

望市議
望さん、議員になって9年目。何か政策は実現できたの?
政治の結果を出さなければならない
前市長

そうだね。例えば自然保育の推進は議員になってずっと言い続けてるけど、新年度に市は自然保育のブランディングをもっと進めると言ってるよ!

小中学校での『弁当の日』は一般質問したのが2014年12月。それから約7年経って市内の全小中学校での取り組みに広がったよ

令和4年度は空き家を活用して事業を行う場合の改修費用の補助制度ができたよ!
望さんの提案した『スモールソーシャルビジネス』を後押しする予算だね
けっこう実現してるんだね

もちろん、僕が言ったからそうなったということではないよ。社会情勢や市民ニーズなど、色んな要素が合致したからだよ。
望さん、これからも創造的な提案をしてね!

マンガ・イラスト/にじ工房 西絢子